



## 2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月7日

上場会社名 新東工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 永井 淳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務・法務部長 (氏名) 河口 佳徳

TEL 052-582-9211

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	41,425	60.8	712	33.1	504	29.9	186	26.8
2025年3月期第1四半期	25,766	4.2	535	23.8	720	50.0	254	73.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,377百万円 ( %) 2025年3月期第1四半期 1,877百万円 ( 56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	3.56	
2025年3月期第1四半期	4.87	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	233,216	124,393	50.2	2,231.96
2025年3月期	236,764	127,125	50.5	2,280.45

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 117,074百万円 2025年3月期 119,619百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		22.00		22.00	44.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)		22.00		22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	78,000	14.7	2,100	34.4	2,200	58.4	1,300	299.3	24.78
通期	160,000	6.5	4,800	59.7	5,000	55.0	3,000	8.8	57.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	54,580,928 株	2025年3月期	54,580,928 株
2026年3月期1Q	2,127,155 株	2025年3月期	2,126,791 株
2026年3月期1Q	52,453,906 株	2025年3月期1Q	52,396,181 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

#### ①当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、長期化する中東地域の紛争並びにロシアによるウクライナ侵攻による地政学リスクが高い状況が持続しているとともに、トランプ政権の関税措置により政策の不確実性が高まり、全体的には景気減速懸念が急速に広がっている様相を呈しています。

欧州では政治的不安定化や雇用コスト高等の産業構造に起因して、経済の低成長は続いています。ドイツの大規模な財政出動等の財政政策により経済を下支えすると予想されます。一方米国では、政府支出削減などの影響から景気は減速する見通しであり、中国では景気刺激策により内需押上げが期待されている反面、トランプ関税の景気下押し圧力が高まり、成長鈍化の状況にあります。

わが国においては、設備投資はデジタル化、脱炭素やサプライチェーン強靱化や省力化・人手不足対応などを目的とした成長への投資需要は高まるものの、トランプ関税の影響により実施時期の見極めが課題となり、先行き不透明な状況にあります。また米価をはじめとする物価の高止まり、賃金上昇への期待、金利上昇傾向の中で、個人消費マインドは低く、経済成長スピードは鈍い状況にあります。

当社グループの事業環境につきましては、主要なお客様である自動車産業において、国内では、EV車対応やスマート化の取組みにおける競争激化による業界再編の動きが加速しており、欧州では、エネルギー高に伴うコスト上昇や関税の影響により外需が減少し製造業の業績状況は依然厳しい状況にあり、市場は停滞状況にあります。一方で、AI関連需要拡大に伴う半導体関連業界の旺盛な投資意欲は持続し、電子業界向けを中心に部品・消耗品が堅調に推移しました。

こうした情勢下、受注高は対前年同四半期比2,280百万円増加の35,927百万円（前年同四半期比6.8%増）、売上高は同15,658百万円増加の41,425百万円（同60.8%増）、受注残高は同7,575百万円減少の60,899百万円（同11.1%減）となりました。収益につきましては、営業利益は同177百万円増加の712百万円（同33.1%増）、経常利益は同215百万円減少の504百万円（同29.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同68百万円減少の186百万円（同26.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### [表面処理事業]

表面処理事業は、主としてエラスティコス社の子会社化により、売上高は大幅に増加し、12,410百万円増加の23,034百万円（同116.8%増）となりましたが、営業利益は、のれん償却負担等により同133百万円減少の278百万円（同32.3%減）となりました。

なお、受注高は、エラスティコス社の子会社化に加え、機械装置でインフラ関連の建設機械分野や電子分野が堅調に推移したことで、同9,849百万円増加の22,433百万円（同78.3%増）、受注残高は同161百万円減少の10,589百万円（同1.5%減）となりました。

#### [鑄造事業]

売上高は、国内では大型プラント案件の製作・現地工事が順調に進捗し、海外では造型機や注湯装置の増加により、同2,121百万円増加の11,549百万円（同22.5%増）となりました。営業利益は、原材料費・エネルギー費・運賃の高止まりが継続するも、原価低減活動等の効果が表れ同141百万円増加の154百万円（同1,135.7%増）となりました。

なお、受注高は、国内では老朽設備更新が一巡し、海外では米国の関税政策、中国の景気後退等により、同6,870百万円減少の7,439百万円（同48.0%減）、受注残高は同4,226百万円減少の36,237百万円（同10.4%減）となりました。

#### [環境事業]

売上高は、国内での大型集塵機案件とメンテナンス部品が堅調に推移し、同710百万円増加の2,724百万円（同35.3%増）となりました。営業利益は、販管費の削減や設計改善等の原価低減により、同245百万円増加の322百万円（同318.5%増）となりました。

なお、受注高は汎用集塵機が回復基調にあることに加え装置の販売価格増加等により、同693百万円増加の3,447百万円（同25.2%増）、受注残高は同1,009百万円増加の7,759百万円（同15.0%増）となりました。

#### [搬送事業]

搬送事業は、大型リフトの更新需要や、トラックヤード市場でのリフト案件の増加等、物流業界・倉庫関連の需要が堅調に推移する等により、売上高は、同531百万円増加の2,545百万円（同26.4%増）となりました。営業利益は、同47百万円増加の345百万円（同16.0%増）となりました。

なお、受注高は自動車業界の生産減少や、中国の工作機械販売の低迷により同672百万円減少の1,438百万円（同31.8%減）、受注残高は同1,908百万円減少の2,735百万円（同41.1%減）となりました。

[特機事業]

売上高は、二次電池向け商品であるロールプレス、サーボシリンダの減少により、同99百万円減少の1,839百万円（同5.2%減）となりました。営業損益は物量減と販管費の増加等により同154百万円減少の177百万円の損失（前年同四半期は23百万円の損失）となりました。

なお、受注高は、EV車の成長失速により二次電池向けプレス案件が減少し、同712百万円減少の1,118百万円（前年同四半期比38.9%減）、受注残高は同2,306百万円減少の3,559百万円（同39.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,548百万円減少し、233,216百万円となりました。

負債合計は、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ816百万円減少し、108,822百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,731百万円減少し、124,393百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月12日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,533	36,817
受取手形、売掛金及び契約資産	44,546	44,977
有価証券	1,200	3,200
製品	9,346	9,257
仕掛品	7,745	6,669
原材料及び貯蔵品	9,366	8,924
その他	7,525	8,099
貸倒引当金	△541	△509
流動資産合計	119,723	117,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,370	18,215
機械装置及び運搬具（純額）	18,544	17,612
その他（純額）	15,323	16,179
有形固定資産合計	52,238	52,008
無形固定資産		
のれん	12,349	11,646
その他	11,852	11,355
無形固定資産合計	24,201	23,002
投資その他の資産		
投資有価証券	32,985	32,927
その他	8,292	8,515
貸倒引当金	△677	△672
投資その他の資産合計	40,600	40,769
固定資産合計	117,040	115,779
資産合計	236,764	233,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,332	16,095
短期借入金	10,287	9,643
未払法人税等	902	783
賞与引当金	2,460	1,535
役員賞与引当金	270	297
製品保証引当金	261	268
受注損失引当金	336	187
その他	24,292	25,391
流動負債合計	54,145	54,202
固定負債		
長期借入金	38,841	38,222
役員退職慰労引当金	265	273
退職給付に係る負債	1,902	1,827
資産除去債務	38	63
長期未払法人税等	78	78
その他	14,367	14,154
固定負債合計	55,493	54,620
負債合計	109,638	108,822
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,192	6,192
利益剰余金	89,808	88,837
自己株式	△1,990	△1,990
株主資本合計	99,763	98,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,364	11,761
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	7,129	5,191
退職給付に係る調整累計額	1,361	1,329
その他の包括利益累計額合計	19,856	18,283
非支配株主持分	7,506	7,318
純資産合計	127,125	124,393
負債純資産合計	236,764	233,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	25,766	41,425
売上原価	18,114	29,897
売上総利益	7,652	11,528
販売費及び一般管理費	7,116	10,815
営業利益	535	712
営業外収益		
受取利息	134	116
受取配当金	281	462
持分法による投資利益	100	-
為替差益	96	-
その他	107	58
営業外収益合計	720	637
営業外費用		
支払利息	274	271
持分法による投資損失	-	95
支払手数料	230	62
為替差損	-	273
その他	30	141
営業外費用合計	535	845
経常利益	720	504
特別利益		
固定資産売却益	9	188
投資有価証券売却益	-	299
特別利益合計	9	488
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産廃却損	10	0
投資有価証券評価損	-	48
特別損失合計	10	49
税金等調整前四半期純利益	718	943
法人税、住民税及び事業税	207	605
法人税等調整額	152	△82
法人税等合計	359	523
四半期純利益	359	420
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	233
親会社株主に帰属する四半期純利益	254	186



(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	359	420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	397
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	1,512	△1,984
退職給付に係る調整額	△46	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	75	△177
その他の包括利益合計	1,518	△1,797
四半期包括利益	1,877	△1,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,649	△1,386
非支配株主に係る四半期包括利益	228	9

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	684百万円	1,571百万円
のれんの償却額	18	490

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	表面処 理事業	鋳造 事業	環境 事業	搬送 事業	特機 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,597	9,254	1,997	2,010	1,846	25,707	59	25,766	-	25,766
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	26	173	16	3	92	312	426	739	△739	-
計	10,623	9,428	2,014	2,014	1,939	26,019	485	26,505	△739	25,766
セグメント利益 又は損失(△)	411	12	76	298	△23	776	11	787	△251	535

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△251百万円には、セグメント間取引消去35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△287百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	表面処 理事業	鋳造 事業	環境 事業	搬送 事業	特機 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,034	11,353	2,666	2,538	1,747	41,341	84	41,425	-	41,425
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	195	57	7	91	352	518	870	△870	-
計	23,034	11,549	2,724	2,545	1,839	41,693	603	42,296	△870	41,425
セグメント利益 又は損失(△)	278	154	322	345	△177	922	12	935	△222	712

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△222百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△219百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 関連情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 地域ごとの情報

## 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
13,841	1,456	2,437	3,355	2,984	1,691	25,766

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………インド・台湾・韓国・アセアン諸国

(2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ

(3) ヨーロッパ……………ドイツ・トルコ

(4) 南アメリカ……………ブラジル

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

## 地域ごとの情報

## 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
17,701	3,457	3,171	4,479	1,255	8,592	2,768	41,425

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………インド・韓国・台湾・アセアン諸国

(2) 北アメリカ……………メキシコ

(3) ヨーロッパ……………ドイツ・フランス・イタリア

(4) 南アメリカ……………ブラジル

(企業結合等関係)

(暫定的な金額の修正)

2024年4月4日付で行われたElastikos (France) S.A.S.の株式取得について、前第1四半期連結累計期間においては取得対価の配分が完了していなかったため、暫定的な金額で報告しておりましたが、前連結会計年度末において当該配分が完了しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の遡及的な修正を行っております。

当該遡及修正により前第1四半期連結累計期間の四半期連結貸借対照表において、流動資産が881百万円、固定資産が15,132百万円、固定負債が4,003百万円それぞれ増加し、のれんが12,010百万円減少しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。